

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科			
科目名称	エアライン講座						授業形態	演習		
科目コード	590152	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員		○	Active・L	○
担当教員名	佐藤 優菜							ICT活用		
授業概要	エアライン業界は華やかに見える一方で、経済を支える要でもあります。国内のエアライン企業について、またグランドスタッフや客室乗務員の業務について知り、採用試験までに身につけるべき面接力や英語力について理解します。さらに面接練習やグループディスカッションなど実践的なレッスンをし、具体的なイメージを持った就職活動のスタートに繋がります。									
関連する科目										
授業の方法と進め方	①航空業界についての説明や関連する社会情勢について説明し、授業の中で出すテーマを基に学生同士で話し合う。 ②自己PRやエントリーシートを書くときのポイントを説明し、実際に学生が書いたものを添削しアドバイスする。 ③本番を想定した模擬面接を行い、授業内でフィードバックを行う。									
第1回	航空業界研究①：日本のエアライン22社とグランドスタッフ・客室乗務員の仕事 業界研究の第一歩として日本のエアライン企業を紹介し、仕事内容を説明する。									
第2回	採用試験の内容 グランドスタッフ、CAを募集している企業と採用試験の内容を紹介する。学生は就職活動までに自分が行うべき対策を理解する。									
第3回	第一印象と社会人基礎力 面接で重要となる第一印象を良くするためのポイントと、社会人に求められる基礎的な能力を理解する。									
第4回	社会情勢を知る 経済の要であるエアラインに関わる世界や日本の社会情勢を知り、航空業界の今後を考える。									
第5回	新聞を読んで意見を発表する 新聞記事を抜き出して自分の意見と共にまとめ、スピーチを行う。									
第6回	航空業界研究②：職種や会社による働き方の違い グランドスタッフとCA、主要空港と地方空港など、職種や会社によって異なる様々な働き方を知り、具体的に自分が仕事をするイメージを持つ。									
第7回	自己PRで伝えるべきこと 採用試験で必ず聞かれる自己PRを考える際のポイントを理解し、実際に書く。									
第8回	エントリーシート(履歴書)で書くべきこと(個別指導) 応募書類を書く際に意識するポイントを理解し、作成する。授業時間内に個別指導も行う。									
第9回	ゲストスピーカー講話(実施回は前後する可能性あり) 実際に航空業界で働いている方をゲストに迎え、現場で感じていることを伺う。エアラインで働くことについて考える。									
第10回	面接での質疑応答 過去の面接で実際に出題されている質疑応答内容を知り、自分なりの答えを考える。									
第11回	面接にふさわしい身だしなみと所作（個別指導） 面接の流れを理解し、第一印象に直結する身だしなみ・所作を身につける。									
第12回	模擬面接①：仕草、自己PR、志望動機 前回までの学びを活かして模擬面接を行い、改善点をフィードバックする。									
第13回	グループディスカッション 採用試験でよく行われるグループディスカッションの流れとポイントを理解する。									
第14回	企業が求める新入社員像と、入社後の心構え 内定をゴールとせず、入社後も生き生きと働くために知っておくべき心構えと、企業が新入社員となる学生に求めていることを理解する。									
第15回	模擬面接②：質疑応答、グループディスカッション 講座全体のまとめとして、質疑応答とグループディスカッションを中心に模擬面接を行う。時間内にフィードバックも行う。									
授業の達成目標	①国内の航空会社やグランドスタッフ・客室乗務員の仕事について理解する。 ②エントリーシートやスピーチ、模擬面接を通じて採用試験を体験し、自身の課題を認識する。 以上により、2年次の就職活動のための企業研究・自己成長の場とする。									

学修成果との関連	2.自分の言葉で表現できる能力を有する。
授業時間外学習【予習】	授業終了時に提示する次回の授業内容について、自らの考えをまとめておく。また課題の指示があった場合は次回授業までに済ませておく。 (毎週1時間程度の学習を想定)
授業時間外学【復習】	授業で配った資料やノートを見返して内容の定着を図る。 (毎週1時間程度の学習を想定)
課題に対するフィードバック	模擬面接や課題発表に対して、当日の授業時間内に改善点のフィードバックを行う。
評価方法・基準	①授業参加態度：20点 ②スピーチおよび課題発表：10点 ③小テスト：10点 ④模擬面接：20点 ⑤期末試験：40点
テキスト	なし(授業資料を都度配布)
参考書	なし(参考となる書籍は授業内で都度紹介)
備考	